

## 2019年度 第1回監査結果報告書

1. 日 時：2019年9月12日（木）午前10時～午後1時
2. 場 所：院長応接室
3. 監査委員：橋本廸生（委員長）、棚瀬慎治（委員）、岩本 裕（委員）、落合和徳（委員）
4. 対象期間：2018年9月～2019年3月分
5. 実施方法：資料提出に基づく医療安全体制および実業務をヒアリング
6. ヒアリング対象者：

井田 博幸／病院長  
瀧浪 將典／医療安全管理部門長（医師）  
大城戸 一郎／医療安全推進部長（医師）  
小菅 誠／医療安全推進部副部長・医療機器安全管理責任者（医師）  
佐藤 恵／医療安全推進部副部長・医療安全管理者（看護師）  
北條 文美／医療安全管理者（看護師）  
廣瀬 俊昭／医薬品安全管理責任者（薬剤師）  
平塚 明倫／医療機器安全管理実務担当者（臨床工学技士）  
岩谷 理恵子／臨床工学部（臨床工学技士）  
影井 淳子／医療安全推進部（事務員）  
石垣 秀城／医療安全推進部（事務員）  
楠本 靖幸／医療安全推進部（事務員）

### 7. 監査内容

- 1) 医療安全管理体制について
- 2) 外部評価、医療機関立ち入り検査後の指摘事項に対する改善状況について
- 3) 医療安全活動状況について
- 4) インシデント・アクシデント報告件数および統計について

### 8. 監査結果

- 1) 特定機能病院に課せられた対応は、殆どの大学病院で医療安全部門が請け負っており、業務過多にならないか危惧している。医療安全部門が中心となることはよいが、実務を負うことで本来果たすべき役割が低下しないように留意いただきたい。  
また、組織的検討が欠落することがないように留意し、現場からの報告に遅れが生じないよう教職員の教育に尽力いただきたい。
- 2) インシデント・アクシデント報告については、報告が負担にならないように報告書式を簡素化する等して工夫を加え、レベルに応じて入力項目を追加する等の運用を検討し、医師からの報告、特に研修医からの報告件数が増加するよう取り組んでいただきたい。
- 3) 高難度新規医療技術、および未承認薬新規医薬品の実施申請に対する承認事項については、実施症例別、薬別に結果報告を記録する等、許可後、使用後の管理方法を検討し、リスクマネジメントに努めていただきたい。
- 4) 改善事項が病院経営に影響するということも認識のうえ、医療安全に取り組んでいただきたい。

以上